

## 臨床研究に関する倫理指針に基づく情報公開について

名古屋市立大学・生体総合医療学講座・血液・腫瘍内科学では、悪性リンパ腫などの難治性疾患の原因の探求、新たな治療法の開発、既存治療法の改良などを目的として以下の研究をしております。この目的の為に、過去に名古屋市立大学病院、または本研究の共同研究施設で診察をうけ、研究、診断、治療の為に取得し保存されている血液や組織を使わせていただき、企業との共同研究を含めた種々の研究活動を実施しております。

### 【研究課題名】

モガムリズマブの皮膚障害機序解明、耐性機序解明、薬効予測法の探索研究

### 【研究機関】

名古屋市立大学・生体総合医療学講座・血液・腫瘍内科学

### 【研究の目的】

モガムリズマブ治療の治療効果、耐性獲得、有害事象発現を規定する宿主の遺伝学的・生理学的素因、また腫瘍側の遺伝学的・生理学的素因を明らかにし、より安全で効果的なモガムリズマブによる治療方法の確立を目指します。

### 【研究の方法】

#### 1 対象となる患者さん

ヒト T 細胞白血病・リンパ腫 (ATL)、末梢性 T 細胞リンパ腫 (皮膚 T 細胞リンパ腫を含む) 患者さんで、平成 16 年以降に名古屋市立大学病院、または本研究の共同研究施設を受診した際に、研究、診断、診療目的で取得された血液、リンパ節、皮膚検体等をご提供くださった方。

患者さんからご提供頂いた検体を連結可能匿名化し、遺伝子解析、病理学的解析、細胞生物学的解析、免疫学的解析等を実施します。なお、本研究は名古屋市立大学と協和発酵キリン株式会社との共同研究として実施します。

これらの研究は名古屋市立大学大学院医学研究科倫理審査委員会にて審査及び許可の下、適切に遂行されており、検体提供者のプライバシーを侵害するような個人情報が漏洩するなど、検体提供者に不利益になる可能性はありません。しかし、ご自分の組織の一部が研究に使用されることに不安を覚えたり、使用して欲しくないという方は、使用を拒否することができます。過去に名古屋市立大学病院、および本研究の共同研究施設で悪性リンパ腫などの治療を受けられた方で、自分の組織が研究に使われているか否かを知りたい、という場合は、主治医を通して、または下記の連絡先に直接お問い合わせください。

### 【お問い合わせ先】

名古屋市立大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学 飯田真介  
(電話 052-853-8736)